

盛岡市水道工事
標準仕様書

令和6年410月1日以降適用

盛岡市上下水道局

別表 4-1-(5)

【水道工事承認材料一覧表(5)】

製品名		規格等
仕切弁篋		
仕切弁篋	A1L (従来埋設 φ50～φ100)	仕様書⑤ JWWA B 110 川彦(株)
	A1 (従来埋設 φ150～φ300)	日之出水道機器(株) 株トミス 長島鋳物(株)
	A1S (浅層埋設 φ50～φ200)	平野鋳工(株) 北勢工業(株)
	A2 (従来埋設 φ400) (浅層埋設 φ250～φ300)	仕様書⑤ JWWA B 110 川彦(株) 日之出水道機器(株) 株トミス 長島鋳物(株) 平野鋳工(株)
仕切弁篋台	コンクリート製 (A1、A1L、A1S号)	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株) 日之出水道機器 (株)
	コンクリート製 (A2号)	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株)
	再生プラスチック製 (A1、A1L、A1S号)	川彦(株) 株トミス 日之出水道機器 (株)
	再生プラスチック製 (A2号)	株トミス
	レジコンクリート製 (A2号)	日之出水道機器 (株)
仕切弁台	コンクリート製	岩手大丸コンクリート(株) 矢巾ケーハン(株)
	再生プラスチック製	日之出水道機器 (株)
その他		
埋設標識シート (標識部はリサイクル製 品) 幅 150mm	浅埋用 (標識部W折込、保護部シングル)	株アクロス サンエス護謨(株) 株モリヤ ヨツギ(株)
	従来用 (標識部W折込)	
管明示テープ	【形状寸法】 幅 50mm×厚さ 0.2mm×長さ 20m(巻) 【印刷文字】 「盛岡市上水道 内面エポキシ樹脂粉体 塗装(西暦2年単位 例:2019～2020)」	株アクロス サンエス護謨(株) ヨツギ(株)
ポリエチレンスリーブ類		JWWA K 158
管探知ワイヤー	ロケーティングワイヤー	フジテコム(株)FRT-174W 株アクロス PC706 サンエス護謨(株) ヨツギ(株) YS671 河陽電線(株)

② 文字の大きさ

A 2 に縮小した場合でも判読できるものとする。

③ 工事施工箇所を表示

工事施工箇所については、背景図と明瞭に区別できるよう太線で作成することとし、引き出し線により工事概要に記述する事項のほか、管の接合形式、管の内面処理、消火栓番号、その他監督職員が必要と認めた事項を表示すること。

③ 管路の表示

新設管は太い実線、既設管は新設管と区別できるよう細い実線、または細い点線にて表示のうえ、管路記号、口径及び工事番号を記述すること。また、用途を廃止又は既に廃止している管は細線上に斜線で表現し、「掘掘上撤去」「継続占用(充填無)」「継続占用(充填有)」「新規占用(充填有)」等の表示をすること。

④ 管路の布設延長

実測した距離（異形管も含む）で表示すること。

⑤ 管の埋設位置及び土被りの表示

管の埋設位置及び土被りは、官民境界線から管の埋設位置までの離れ及び土被りを実測し、引き出し線の上段に離れを、下段に土被りを表示する。

なお、表示する箇所は、事前に監督職員と打ち合わせを行いその指示によること。

⑥ 地盤高の表示

平面図には監督職員の指示により、水道施設管理図または道路現況平面図に記述されている単点標高を表示すること。

⑦ 詳細図

道路横断、水路横断、伏せ越し、鉄道横断箇所等で監督職員が指示する箇所については、平面、断面等の詳細図を作成すること。

⑧ 給水管の表示

各戸の給水管は、分岐箇所から家屋（メータ位置）までの管路、管種及び口径、止水栓位置・メータ位置並びにメータ口径について、記号等を用いて表示すること。

また、家屋枠内には水栓番号、使用者名及び所在地を記述すること。

⑨ 貯水槽の表示

貯水槽までの管路、管種及び口径並びに貯水槽の有効容量を記述すること。

(5) 配管図

① 配管図は配管状況及び配管材料の使用状況、既設配管との接続状況が解るよう管路記号を用いて作図すること。特に、既設管との接続部分の配管状況については、既設配管を省略することなく詳細に記入すること。

② 新設管と既設管は容易に区別できるよう線種を使い分けるなどして記述するものとし、詳細については監督職員の指示により作成すること。

③ 異形管類は、管路記号だけで判別できない場合、品名、形状寸法、切管種別等を必ず記入すること。

(別表4-1) 管路記号一覧表

(3) 弁栓類記号

記号	名称	記号	名称
	不断水仕切弁	—×—	止水栓
	不断水栓	□12	自記録水圧計 (□内は番号を記入)
○	メーター (量水器) φ13	□TL □TR	受水槽 [TL (地下式) TR (地上式)]
◎	メーター (量水器) φ20	私○○	私設消火栓 (○○は番号を記入)
⊗	メーター (量水器) φ25以上	○211	私設幹栓 (○は番号を記入)
	不凍式排水弁 (高密度ホ ^ホ リェフ ^レ 管×DIPφ50)		不凍式排水弁 (高密度ホ ^ホ リェフ ^レ 管×DIPφ75)

(4) 異種管記号

記号	名称	記号	名称
	十字管	K	短管1号
	T字管	┊	短管2号
	受挿し片落管		排水T字管
	挿し受片落管		異種管継手 (CVS)
	曲管		異種管継手 (CVS-A)
	フランジ付T字管	▷	短管1号片落
	継輪	▷	短管2号片落
	V Cジョイント		V Cジョイント片落
	異種管継手		異種管継手片落

鑄鉄管 φ 50	—————	鑄鉄管 φ 600	—————
鑄鉄管 φ 75	-----	鑄鉄管 φ 700	—×—×—×—
鑄鉄管 φ 100	-----	鑄鉄管 φ 800	
鑄鉄管 φ 150	-----	石綿管 φ 75	-->—<—>—<—
鑄鉄管 φ 200	-----	石綿管 φ 100	—>—<—>—<—
鑄鉄管 φ 250	-----	石綿管 φ 150	—<—>—<—>—
鑄鉄管 φ 300	-----	石綿管 φ 200	—<—>—<—>—
鑄鉄管 φ 350	- . . . - . . . - . . . -	ビニル管 φ 75	VP-----
鑄鉄管 φ 400	- . . . - . . . - . . . -	ビニル管 φ 100	VP-----
鑄鉄管 φ 450	—<—>—<—>—<—	ビニル管 φ 150	VP-----
鑄鉄管 φ 500	—+—+—+—	ビニル管 φ 200	VP-----
廃止管 (既設管)	(例) CIP 100 N-009 掘上撤去 //////////		

単位 mm

工 種	項 目	規格値	測 定 基 準	摘 要	
管布設工 (開削工事)	基準高 (土被り)	± 30	施工延長40m (測点 間隔25mの場合は50 m)につき1箇所。 延長40m (又は50m) 以下のものは, 1施 工箇所につき2箇 所。		
	幅	- 50			
	延 長	設計値以上	1施工箇所毎		
	占用位置	± 30	施工延長40m (測点 間隔25mの場合は50 m)につき1箇所。 延長40m (又は50m) 以下のものは, 1施 工箇所につき2箇 所。 設計図に明示した伏 せ越し等、特殊部及 び附属施設について は全箇所。		
推 進 工 事	基準高 (垂直方向)	1100mm未満 ±50	基準高、蛇行は施工延 長20mにつき1箇所と する。 裏込材のてん充状況の 測定は40mにつき1箇 所とする。 各区間延長は-20cm		
		1100mm以上 管経の5%以内かつ±100			
	蛇行 (水平方向)	1100mm未満 ±100			
		1100mm以上 管経の10%以内かつ± 150			
	浸入水	認めない			
	目地切れ、剥離	認めない			
	管の亀裂	幅			0.25以下
		長さ			管長方向 管長の1/4以 下 管周方向 管周の1/10 以下
	延長	0~+0.2%以内			
裏込材					
マン ホー ル 設 置 工	基準高	±30 ※	全マンホール 製品使用の場合は、製 品の寸法については、 規格証明書等による。	※マンホール設置 工の基準高におけ る出来高管理基準 は、仕切弁筐設置工 及び各種弁室設置 工の基準を準用す る。	
	厚さ	- 20			
	幅 (内径)	- 30			
	高さ	± 30			

単位 mm

工種	項目	規格	値	測定基準
消火栓設置工 (地上式)	基準高 ※基準高は、舗装仕上がり面から上胴部最下面までの距離とし、80mmを基準値とする。		± 30	全ての地上式消火栓
仕切弁篋設置工 各種弁室設置工	基準高 ※基準高は、舗装仕上がり面とし、各種弁室鉄蓋等の上面までの下がり5mm以内とする。		0 ~ -5 以内	全ての仕切弁篋、弁室
函渠工・開渠工等	基準高		± 30	函渠等寸法は、両端、施工継手箇所及び構造図の寸法 表示箇所その他については監督職員の指示による。 各区間延長は-20cm
	厚さ $t_1 \sim t_4$		- 20	
	幅 (内法) a		- 30	
	高さ h		± 30	
	延長 L		設計値以上	
街渠	延長		設計値以上	各区間延長は-20cm 監督職員の指示による。
	基礎工	幅	- 50	
		厚	- 30	
備考				